

鳥取県内のシーズ発表会「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり」

○加藤 優^{*1}，三須 幸一郎^{*1}，山岸 大輔^{*1}，清水 克彦^{*1}
(^{*1}鳥取大学 産学・地域連携推進機構)

1. はじめに

経済の活性化やベンチャービジネス創出のためには、大学等における知的財産・技術シーズの活用、すなわちこれら技術の企業への技術移転が有効と考えられる。そのため、東京などの都市圏では、大学等の技術と企業ニーズとのマッチングを図るため（独）科学技術振興機構と大学等による「新技術説明会」など、大学等の研究者によるシーズ発表会が盛んに開催されている。

一方で著者らは、地元企業への大学のシーズの展開を図るために、鳥取県におけるシーズ発表会「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり」を開催している。本発表では、その取り組みについて紹介する。

2. 開催経緯と開催履歴

「山陰発技術シーズ発表会」は、平成 21 年 3 月に、「山陰発技術シーズ発表会 in 島根」として、島根大学の主催によって初めて開催された。この島根での開催に引き続いて、「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり」を平成 21 年 9 月に、「とっとり産業フェスティバル実行委員会」と「中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）」の主催によって初めて開催した。このシーズ発表会は、鳥取県、鳥取県産業振興機構、鳥取大学などで構成される「とっとり産業フェスティバル実行委員会」主催による「とっとり産業フェスティバル」の中の催しとして開催し、集客やマッチングの面で相乗効果を狙っている。

これまで、下記の通り年 1 回開催し、平成 25 年度で 5 回開催している。

○「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり」過去開催履歴

- ・平成 21 年 9 月 13 日(日)：「とりぎん文化会館」（鳥取市）
- ・平成 22 年 9 月 3 日(金)：「米子コンベンションセンター」（米子市）
- ・平成 23 年 8 月 26 日(金)：「鳥取産業体育館」（鳥取市）
- ・平成 24 年 10 月 5 日(金)：「米子コンベンションセンター」（米子市）
- ・平成 25 年 9 月 6 日(金)：「カ・コ・ウエストスポーツパーク 鳥取県民体育館」（鳥取市）

発表会では、研究者自らが開発した技術シーズを、1 件あたり 20 分程度で発表し、全体で 10 件程度を発表している。また発表される技術シーズとしては、特許出願済みの技術が主となっているが、特許出願を要件とはしていない。

平成 21 年度の開始当初は、鳥取大学の発表 5 件を含む、5 機関による発表会であったが、回数を重ねるにつれ徐々に参加機関も増えてきた。直近の平成 25 年度では、10 機関から各機関イチ押しの新技術が 1 件ずつ発表された。

3. 平成 25 年度の開催概要

平成 25 年度の「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり 2013」は、鳥取市の鳥取県民体育館（鳥取市布施 146-1）で平成 25 年 9 月 6 日（金）14:00～17:00 に開催した。今回の発表会は、9 月 6 日～7 日の二日間開催された「とっとり産業フェスティバル 2013」における催しとして開催し、鳥取県民体育館・メインアリーナの一面に設けられたプレゼンコーナーを会場とした。会場のメインアリーナ内では、企業や大学等によるブース展示なども同時に行われており、プレゼンコーナーは特に間仕切りをせず、ブース展示の出展者・来場者も気軽に立ち寄れる形式とした。

発表機関は、島根大学、鳥取大学、鳥取環境大学、島根県立大学短期大学部、鳥取短期大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校、島根県産業技術センター、鳥取県産業技術センター、鳥取県衛生環境研究所の 10 機関であり、各機関イチ押しの新技術が発表され

た。

今回の発表会は、企業や鳥取県内の支援機関、フェスティバル出展者などから約 100 名の方が聴講された。鳥取県内のみならず、遠方の県外からも数名参加された。

各発表の内容については、事前に冊子として1冊にまとめ、来場者へ配布した。また、発表会開催後には、中国地域産学官連携コンソーシアムのホームページにおいて、一部を除き発表スライドを公開している。



【シーズ発表会場】



【とっとり産業フェスティバル・ブース展示】

写真：平成 25 年度の開催状況

4. おわりに

本発表会でこれまで発表された技術シーズの中には商品化や共同研究などへもいくつか進展している。しかし、発表会で直接的に企業と大学等との連携が開始されることは極めて稀であり、技術シーズの企業への展開には時間を要している。また来場者には好評を得ているものの、発表会の企業からの来場者は多くはなく、集客にも課題がある。今後、より魅力のあるイベントとなるよう改善を図っていきたい。

【謝辞】

「山陰発技術シーズ発表会 in とっとり」は、「とっとり産業フェスティバル実行委員会」、「中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）」および発表機関の各位による協力の下に開催されている。ここに記して謝意を表す。